

2023年11月24日09:30（日本時間）／00:30（協定世界時）まで公開禁止

au じぶん銀行日本複合 PMI 速報値®

及び、au じぶん銀行 日本製造業・サービス業 PMI®速報値

11月、民間企業の事業活動は停滞傾向

主な動向

11月の複合生産高指数速報値：50.0
(10月の確定値：50.5)

11月のサービス業事業活動指数速報値：51.7
(10月の確定値：51.6)

11月の製造業生産高指数速報値：46.4
(10月の確定値：48.2)

本日、au じぶん銀行日本複合 PMI® の最新速報値が発表された。毎月、PMI 確定値発表の約1週間前に発表される速報値は、日本の民間セクターの業況を示す最速の先行指標である。速報値は通常、各月の PMI 調査回答体の約85~90%をもとに算出され、PMI 確定値を的確に指示することをねらいとしている。

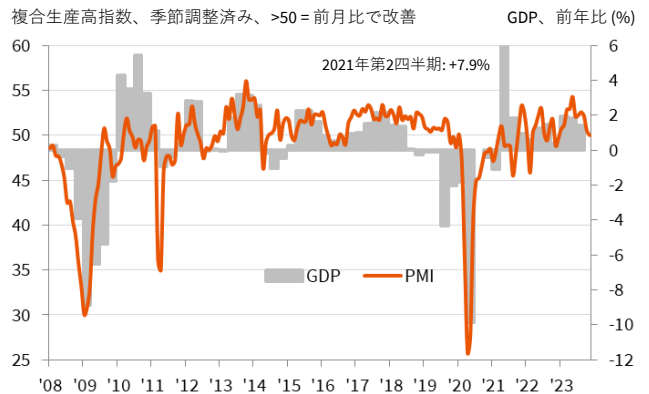
S&P グローバル・マーケット・インテリジェンス、エコノミストの Usamah Bhatti による最新調査結果のコメント

「2023年第4四半期半ば、11月のPMIデータ速報値によると、日本の民間企業の事業活動は停滞をみせ、10か月連続に及んだ事業活動の上昇傾向に終止符を打った。製造業の生産高は9か月間で最大の減少を記録し、サービス業の事業活動は増加をみせたものの2023年中で二番目の低水準を示した。

また、この11月は民間企業の需要が鈍化し、10月とほぼ変わらなかった。製造業の新規受注数が加速的に大幅減少した一方で、サービス業の新規事業はわずかに加速する上昇を記録した。新規受注数の低迷にもかかわらず、日本の民間企業の受注残は横ばいを示し、4か月連続に及んだ減少傾向に歯止めがかかった。

11月のデータでは、日本の民間企業の価格圧力にさらなる緩和がみられた。購買価格のインフレ率は最新の調査期間で27か月間の最低水準に低下したとはいえ、高止まりで推移し、調査史上平均値を大きく上回った。高騰する価格には、続く円安のほか、原材料や燃料費、人件費が主な要因に指摘された。」

au じぶん銀行 日本複合生産高指数



インデックスのサマリー

指数	セクター	解釈
生産高	複合	増加から変化なしへ
	製造業	減少。以前より大幅
	サービス業	増加。以前より大幅
新規事業	複合	変化なしから増加へ
	製造業	減少。以前より大幅
	サービス業	増加。以前より大幅
新規輸出事業	複合	減少。以前より大幅
	製造業	減少。以前より大幅
	サービス業	減少率に変化なし
雇用	複合	増加。以前より小幅
	製造業	減少。以前より小幅
	サービス業	増加。以前より小幅
受注残	複合	減少から変化なしへ
	製造業	減少。以前より大幅
	サービス業	減少から増加へ
製品価格	複合	インフレ。以前より小幅
	製造業	インフレ。以前より小幅
	サービス業	インフレ。以前より小幅
購買コスト	複合	インフレ。以前より小幅
	製造業	インフレ。以前より大幅
	サービス業	インフレ。以前より小幅
生産高予想	複合	楽観的な見通し。以前より大幅
	製造業	楽観的な見通し。以前より大幅
	サービス業	楽観的な見通し。以前より大幅
購買品在庫	製造業	増加率に変化なし
完成品在庫	製造業	減少。以前より小幅
購買数量	製造業	減少。以前より大幅
サプライヤー納期	製造業	長期化。以前より小幅

auじぶん銀行 日本製造業 PMI®速報値

auじぶん銀行日本製造業 PMI®は、S&P グローバル・インクが製造業約 400 社の購買担当者に毎月調査を行い、その回答をもとにまとめている。主要指数の購買担当者指数 (PMI) は製造業の業況を単一の数値で表す複合指標で、次の 5 つのサブインデックスの加重平均である：新規受注 (30%)、生産高 (25%)、雇用 (20%)、サプライヤー納期 (15%)、購買品在庫 (10%)。ただしサプライヤー納期指数は、結果として得られる数値が他の指数と比較可能になるように算出したものである。

11月の主要指数のauじぶん銀行日本製造業購買担当者指数™ (PMI®) 速報値は10月の48.7から48.1へと減少し、2月以来最大の製造業の業況悪化を示した。最新の調査期間では生産高と新規受注数は共にさらに縮小をみせ、新規受注数の減少率はわずかに加速した。8か月間の最大値を記録した受注残の減少が示す通り、生産能力の圧力は新規受注数の動向に合わせて緩和が続いた。その一方で、日本の製造業は雇用数を減少させ、減少傾向は2か月連続に及ぶ。

auじぶん銀行 日本サービス業 PMI®速報値

auじぶん銀行日本サービス業 PMI®は、S&P グローバル・インクがサービス業約 400 社からの調査回答をもとにまとめている。対象セクターには消費者サービス (小売以外)、運輸、情報通信、金融、保険、不動産、ビジネスサービスが含まれる。主要指数のサービス業事業活動指数は事業活動量の前月比での変化を示す。数値が 50 を超えれば全体として前月比で増加したことを、50 を割り込めば減少したことを意味する。

11月の日本のサービス業の季節調整済み事業活動指数速報値は、10月の51.6からほぼ変わらず51.7を記録し、日本のサービス業の事業活動がわずかだが継続的に増加したことを示した。2023年中では2番目の低水準だった。第4四半期半ば、新規事業の増加ペースはわずかに上向きを示したが、全体的には若干程度に留まった。また、11月のデータは、5か月間の最大値を記録した受注残の上昇から、生産能力に再び圧力がかかったことを示した。企業らは、今後一年の事業活動見通しについて、8月以来一番の楽観的な景況感を示した。一方、購買コストのインフレのペースは、2022年初頭以来の最低水準へと低下した。

auじぶん銀行日本複合生産高 PMI®

PMI、季節調整済み、>50 = 前月比で改善



出所：auじぶん銀行、S&P グローバル PMI

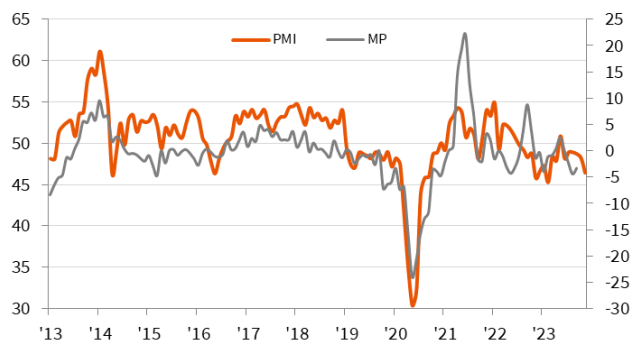
製造業生産高

PMI製造業生産高指数

季節調整済み、>50 = 前月比で増加

製造業生産高 (MP)

前年比 (%)



出所：auじぶん銀行、S&P グローバル PMI、経産省 (S&P グローバル・マーケット・インテリジェンス)

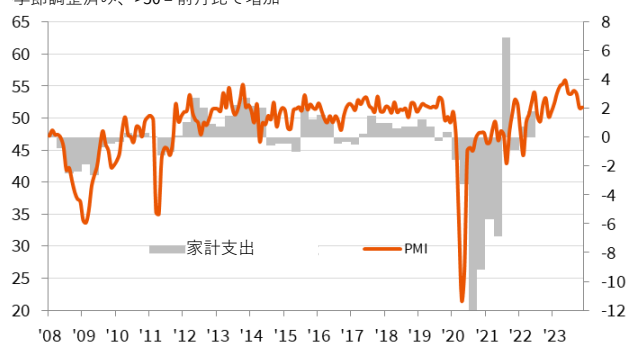
サービス業事業活動

PMIサービス業事業活動指数

季節調整済み、>50 = 前月比で増加

家計サービス支出

前年比 (%)



出所：auじぶん銀行、S&P グローバル PMI、内閣府 (S&P グローバル・マーケット・インテリジェンス)

お問い合わせはこちらへどうぞ

auじぶん銀行
Grp-S-I-Room@jibunbank.co.jp

Usamah Bhatti
エコノミスト
S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンス
電話：+44-1344-328-370
usamah.bhatti@spglobal.com

SungHa Park
コーポレートコミュニケーションズ
S&Pグローバル・インク
電話：+82 2 6001 3128
sungha.park@spglobal.com

調査方法

auじぶん銀行日本複合PMI®はS&Pグローバル・インクがサービス業約400社、製造業約400社からの調査回答をもとにまとめています。サービス業の対象セクターには消費者サービス（小売以外）、運輸、情報通信、金融、保険、不動産、ビジネスサービスが含まれます。調査対象企業は、GDPへの貢献度に従い産業セクターおよび従業員数別に階層化されています。

調査回答は前月比での変化を示すもので、各月の後半に収集されます。これにもとづき、サブインデックスごとの拡散指数（ディフュージョン・インデックス）を算出します。各指数は「増加/上昇」と回答した企業の比率と、「同じ」と回答した企業の比率の半分の合計です。数値は0~100の間で変動し、50を超えれば全体として前月比で増加したことを、50を割り込めば減少したことを意味します。そのうえで指数に季節調整が加えられます。

複合指数は、製造業とサービス業それぞれの比較可能な指数の加重平均です。加重値は、GDP公式データに従った製造業とサービス業の相対的規模を反映したものとされています。

主要指数の複合生産高指数は、製造業生産高指数とサービス業事業活動指数の加重平均です。複合生産高指数は「複合PMI」と表現されることもありますが、製造業の主要指数のPMIと同列のものではありません。

主要指数はサービス業事業活動指数です。これは、事業活動量の前月比での変化についての回答から算出する拡散指数（ディフュージョン・インデックス）です。サービス業事業活動指数は製造業の生産高指数に匹敵します。「サービス業PMI」と表現されることもありますが、製造業の主要指数のPMIと同列のものではありません。

製造業の主要指数は購買担当者指数（PMI）です。これは製造業の業況を単一の数値で表す複合指標で、次の5つのサブインデックスの加重平均です：新規受注（30%）、生産高（25%）、雇用（20%）、サプライヤー納期（15%）、購買品在庫（10%）。ただしサプライヤー納期指数は、結果として得られる数値が他の指数と比較可能になるように算出しています。

速報値は確定値発表の約1週間前に発表されます。通常は各月のPMI調査回答全体の約85~90%をもとに算出され、PMI確定値を的確に指示することをねらいとしています。

確定値の基本的調査データは発表後に修正されることはありません。ただし季節調査要因は必要に応じ修正されることがあり、その場合は季節調整済みデータに影響が及びます。

2023年11月速報値のデータ収集期間は2023年11月09~21です。PMI調査方法の詳細は、economics@spglobal.comへお問い合わせください。

auじぶん銀行日本PMIのスポンサーはauじぶん銀行株式会社です

auじぶん銀行は2008年にKDDIと三菱UFJ銀行の共同出資により設立されたネット専門銀行です。「手のひらにある銀行」として、口座・金融商品・決済などに関して、スマホユーザー視点でサービス展開をしております。キャッシュカードなしで入出金が可能な「スマホATM」、為替相場の動きを予測する「AI外貨予測」、Amazon Alexaへの対応など、ユーザーエクスペリエンスを豊かにするために様々な取り組みを行っております。

S&Pグローバル・インクについて

S&Pグローバル・インク（NYSE:SPGI）は、必要不可欠なインテリジェンスを提供します。適切なデータ、専門知識、コネクテッドテクノロジーの提供により、政府機関、企業、個人が確信を持って意思決定を行うことを可能にします。新規投資案件の評価から、サプライチェーンにおけるESGやエネルギー・トランジションまで、世界中において新たな機会を発掘し、課題を解決し、成長を加速させます。

世界の資本市場、コモデティ市場、自動車市場において、信用格付け、ベンチマーク、分析、ワークフローソリューションを提供し、グローバルのお客様の成長発展を支援します。

IHS Markitのプレスリリースを受け取りたくない場合は、katherine.smith@spglobal.comまでお知らせください。弊社のプライバシーポリシーは[ここをクリック](#)してください。

PMI（購買担当者指数）

購買担当者指数™（PMI®）調査は現在、40を超える国々およびユーロ圏等主要地域で実施されています。世界で最も注目される景況調査として、各国中央銀行、金融市場、企業経営者の方々より、経済動向を知るための正確でユニークな最新月間指標としてご利用いただいております。詳しくは、www.spglobal.com/marketintelligence/en/mi/products/pmiをご覧ください。

免責事項

ここに提供するデータの知的所有権はS&Pグローバル・インク及び/又はその関連会社に帰属し、もしくは使用が許諾されています。当データのいかなる部分についても複製、配布、伝達またはその他の行為を含む無許可の使用は、S&Pグローバル・インクから事前の承諾がない限り認められません。S&Pグローバル・インクは、当レポートの内容またはそこに含まれる情報（「データ」）、データ上のいかなる間違い、不正確な記述、脱落、遅延による、またはそれに関連した責任、義務、負担のいずれをも負うものでなく、またこれにもとづきとられたいかなる行為についても責任、義務、負担のいずれをも負いません。当データの使用によって生じるいかなる特殊、偶発的もしくは間接的損害についても、S&Pグローバル・インクは一切責任を負いかねますので予めご了承下さい。Purchasing Managers' Index™およびPMI®はS&Pグローバル・インクの商標又は登録商標、もしくはS&Pグローバル・インク及び/又はその関連会社に使用が許諾されたものです。

PMI®

by S&P Global

ここに提供するコンテンツは、S&Pグローバル・マーケット・インテリジェンスが公開しています。S&Pグローバル・インクの別部門であるS&Pグローバル・レーティングが公開するコンテンツではありません。関係当事者から書面による事前の許可がない限り、形態を問わず、評価を含むいかなる情報、データ、資料（「コンテンツ」）の複製を禁止しています。関係当事者、関連会社、サプライヤー（「コンテンツプロバイダー」）は、コンテンツの正確性、妥当性、完全性、適時性、可用性を保証しません。また、いかなる間違いや脱落（疎漏など）、あるいは当該コンテンツの使用により生じた結果に対して責任を負いません。コンテンツのいかなる使用に関連するあらゆる損害、コスト、費用、弁護士費用、または損失（喪失利益や逸失利益、機会費用など）について、コンテンツプロバイダーは一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。